

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

活き活き ふるさと通信

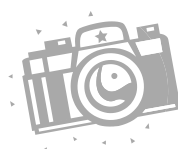
第18号 2011年8月15日発行【真田地域に全戸配布】

大きな写真で登場したのは、石舟自治会の双子兄弟で、左から赤尾颯介（そうすけ）くんと、悠介（ゆうすけ）くんです。生まれたときは本当に小さくて心配だったけれど、今では元気いっぱい大きくなりました。「おばあちゃんに手伝ってもらって、育児をがんばっています」と、お母さんもうれしそうでした。

撮影 スタジオセブン 佐藤和雄



7月8日に開かれた「岡保自治会」でのお茶のみ会でのひとこまです。体を動かしたあとのおしゃべりはにぎやかです。



真田地区の子どもたち、新成人、還暦、100歳の方の写真を募集中！
掲載無料。お気軽に編集部までご連絡ください。

「らいてうの家 森の祭り」にどうぞ！

らいてうの家館長 米田佐代子さん

●「らいてうの家」の活動

信州真田町に「らいてうの家」をオープンして5年、地域のみなさまに支えていただいて、今では全国に名を知られるようになりました。

あずまや高原は、かつて静けさと平和を愛する人びとが別荘地にしたところで、長野県の薬草園もあり、浅間山も遠望できる憩いの地です。ここに平塚らいてうが土地を求めたのは半世紀以上昔でした。全国からのご寄付と、地元のみなさまのご支援、上田地域の女性建築士や建築関係者のご協力をいただき、傍陽や長の山林から切り出した木材も使って建てたのが「らいてうの家」です。

4月下旬から11月初めまで土日月と開館し、らいてうの遺品やパネル展示のほか、植樹や子ども祭り、コンサート、戦前戦後の真田・上田の暮らしを語る会などの活動をしています。ぜひお越しください。

●『青鞥』と信州の深い縁

そして今年は「元始女性は太陽であった」で有名な『青鞥』創刊から、ちょうど百年です。『青鞥』と信州には深い縁があり、長野県出身で『青鞥』に登場した女性たちは、東京の次に大勢いることもわかりました。

そこでわたしたちは、記念のつどいを「らいてうの家」で開くことにしました。涼しい森の風に吹かれての野外コンサートです。上田の合唱団が「ぞうれっしゃがやってきた」を歌い、同じくコールフリーデンが平和の歌を合唱します。西田ミヨ子さんの「ハバネラ」「みあげてごらん 夜の星を」などの独唱もあります。

メインは、柳川慶子、高田敏江、長内美那子のベテラン女優による朗読劇「夏の雲は忘れない—ヒロシマ・ナガサキ 1945」（抜粋）です。地元長小学校の子どもたちも特別出演します。ぜひ応援してください。



らいてうの家 森の祭り

と き 9月4日(日)午後1時より

ところ あずまや高原 らいてうの家&庭

参加券 1,000円

(半額はらいてうの家維持寄付。自由に見学できます)

昼食券 500円(予約制)



- *当日は午前10時半より、らいてうの家と庭をオープンします。
- *上田駅より無料送迎バスあり。夢工房と真田に停車します(要予約)。
- *参加券・昼食券の申し込みとバスの予約先
花岡(0268-72-2437)または、らいてうの会会員へ



写真は昨年度の「2010 夏祭り」

行ってきました！



今回は

「サマーチャレンジボランティア」です

真田地域包括支援センターは、
高齢者の生活を支える総合相談窓口です
☎ **72-8055** 有線 **2080**
(総合福祉センター内 社会福祉協議会)

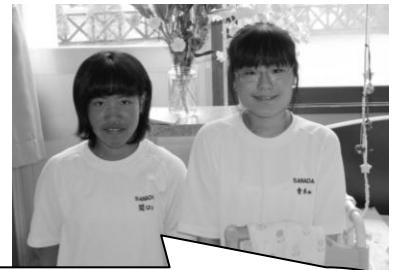
「サマーチャレンジボランティア」が8月1～2日に行われ、真田中学校の生徒さんが52名参加しました。ボランティアを受け入れた9か所の福祉施設と団体のうち、高齢者関連施設4か所での様子取材しました。尚、この企画は、毎年上田市社会福祉協議会が主催し、真田地域の参加対象者は中学生以上です。

【高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ（介護老人福祉施設）】



3年生の5人が参加しました。緊張した様子でしたが、高齢者の皆さんに寄り添ってお話をしていました。

右側の写真の二人は、利用者さんの居室にて広告で折り紙を折っていました。利用者さんもとて嬉しそうでした。



- ★甲田さん「お喋りをするのが大変でした。車いすを押すのもあまり体験できないので、いい経験になりました」
- ★高寺さん「サマチャレは2回目の参加です。体の不自由な人達が日頃どのように過ごしているのか分かって良かったです」
- ★柳沢さん「普段関わることはありませんが、こういう機会に話ができて良かったです」

- ★関口さん「初めてボランティアをやったけど、（利用者さんの）住んでる所とか昔の学校とかいろんな話が聞けて良かったです。私はバレー部ですが、昔はバレーがなかったと聞いて驚きました」
- ★青木さん「初めてだけど面白くて、おじいちゃんおばあちゃんとも仲良く話せていいなと思いました。また機会があったら来たいと思いました」

【デイサービスセンター アザレアン（アザレアンさなだ内）】

3年生の4人が参加しました。おやきを焼くのを手伝ったり、風船バレーの補助をしたり、楽しそうにボランティアをしていました。

- ★杉原さん「仲良く話ができて、昔のことを教えてもらって良かったです」
- ★小宮山さん「お年寄りと接するのは難しいです。気配りとかお話とか続かなかったりして難しいなと思いました」



【真田グループホーム】

3年生の2人が参加しました。七夕飾りの飾りつけを利用者さんとしていました。きれいな飾りに利用者さんも大喜びでした。



- ★大久保さん「おばあさんと一緒に作業をするのが楽しいです」
- ★小宮山さん「家には父母しかいないので、交流ができて楽しいです」

【中原グループホーム】

3年生の2人が参加しました。丁度、お茶の時間の前でした。利用者さんと生徒さんがゆったりとした時間を過ごしていました。



- ★橋詰さん「初めてだったけど、利用者さんも職員さんも明るくて、私たちが元気をもらいました。お年寄りと接するのが初めてなので勉強になりました」
- ★中村さん「たくさんのお年寄りと話ができて楽しかったです。昔の話とかを聞くことができて、勉強になりました」

——中学校最後の夏休みに高齢者の方々と関わることで、有意義な学習が出来たようです。今回の経験が、今後皆さんが歩んでいく中で役に立ってくればいいなと思いました。



縁切地蔵

◎十林寺区



地蔵前に供えられている刃物

縁切地蔵については、文献によると幾つかの由来が見られます。

①嫁入道中にこの地蔵前を通ると、嫁婚の縁が切れると云う由来

②この峠は信濃と江戸を結ぶ唯一の通りであり、これから鳥居峠を越すために悪縁を切り無事を祈ったと云われる縁切地蔵とする由来

③加賀の白山男神が、らい病にかかり、それを嫌った妻の白山姫が、十林寺のエットの坂まで逃げてきたとき、男神はもうすぐそこまできていました。追いつかれそうになった白山姫は、峠の頂上に立

っていた地蔵さまに「どうか無事に逃してください」とお願いしました。すると、あたり一面が大きな湖になりました。そして、白山姫のそばに石の舟があり、白山姫は、その石の舟に乗って、向こう岸の創岩へ渡ることが出来ました。あとを追ってきた男神は、舟が無いのであきらめました。しかたがなくそこで夫婦の縁を切って帰っていかれました。そこでこの地蔵さまは「縁切地蔵」といわれるようになったとき。

※ 現在でも、ナイフ、ハサミ等の切れ物が、地蔵さまの前に供えられています。



ひとくちメモ

◇縁切地蔵の所在地

真田町十林寺区公民館裏
(大正14年真田～大屋線
県道開通工事により越戸
峠から十林寺公民館に移
転)

◇写真撮影年月

平成23年4月

◇縁切地蔵建立

昭和2年在銘の石造地蔵
(下塚、赤井、石舟、奥
田、十林寺、中原の人達
により建立)

◇参考文献

「さなだの民話」
「奥野郷民話と伝説」
(宮島清 著)

「長村誌」
「長村広報昭和25年
116号」



CAFE & GALLERY
See

～茶庵～

日替りランチ 600 円《コーヒー付 700 円》数に限りがあります。

軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもごさいます。

TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日

11:00 ～ 17:00 (ラストオーダー16:30)



◇◇求む！こんな物件◇◇

「郊外の物件」、人里離れた場所大歓迎！

「こんなとこ売れないよ。」という場所でも人によってはそこが憧れだったり…

カントリーハウス21は田舎暮らしを夢見るお客様のお手伝いをしております。

↓お問い合わせはこちらへ、お気軽にどうぞ！



COUNTRY
HOUSE 21

真田町本原 1967-33 (担当: 石井)

いきなりホットライン: 080-5108-9701

ホームページは、<http://ch21.naganoblog.jp/>

気になるあの店

手作りデザート&ケーキ Cafe あん

TEL 72-2949

営業時間 10:00~17:00

定休日 月曜日



もともとは、上田市内で「赤毛のアン」というお店を営まれていましたが、7年前に緑に囲まれたお屋敷公園の隣に場所を移しました。

すべて手作りのデザートやケーキ、パスタやカレーは、どれも絶品でこだわりの味です。写真は、オムカレーと冷製パスタ（どちらも裏メニューでした）。あっさり味ですが、ホタテとエビ、きのこがたくさん入りバランスのよい味で、猛暑の今は特におすすめ。

オムカレーも、カレーのルーそのもののおいしいのですから間違いはありません。お肉も柔らかくサフランのご飯によく合います。辛さはお好みで段階が選べます。

プリンやあんみつ、チョコレートケーキも、ぜひ一度食べてみてください。ケーキに添えられたアプリコットジャムやラズベリージャムも手作りです。程よい酸味と上品な甘さがケーキによく合っていました。どれも量が多く、おいしくて、ついつい食べ過ぎてしまいます。ただ、すべて一人で手作りをしているので、時間がかかります。忙しい方は、電話で予約をされるといいですね。

住宅と兼用のお店の周囲は緑がいっぱい！お店の机やイスもこだわりの木製です。木に囲まれた涼しい空気が、気持ちを自然に落ち着かせてくれると感じました。



上原地区に地域交流スペースがオープンしました！

8月1日から、地域包括推進ケア事業（モデル事業）の一環で始めたものです。老若男女どなたでも立ち寄っていただけるスペースです。

◆開館曜日◆ 月～金曜日

◆開館時間◆ 10時～16時

お好きな時間に、お茶のみにお気軽にお立ち寄り下さい。1日ご利用の方はお昼をご持参ください

水色ののほり旗が目印です！



★広告募集中★

3か月 3,150円（税込）

3か月 6,300円（税込）



かり丸くん

真田グッズ

かり
真田雁丸屋

詳しくは

かり丸くん 又は さくらゆき

で 検索

(Tel 0268-23-7313)

おらが1番!

真田に住む方々の“プチ自慢”を聞く ◆第18回◆

坂口 真由美さん(大畑自治会在住)をインタビュー!!!

私は、ご近所の皆さんから「むらの重宝さん」と呼ばれています。着物の着付けができ、結婚式や祭りなどで着付けを頼まれると快く引き受けているからだと思います。「真田まつり」の際も、かりがね福祉会のグループホームに暮らす若い女性の利用者さんたちから浴衣の着付けをお願いされ、お手伝いさせていただきました。着物姿は女性の美しさを一段と引き立たせ、優雅な雰囲気してくれます。着付けのお手伝いをしていると、自分の気持ちもウキウキしてきますね。

他にはお花が大好きで、種から育てたり、水彩画に描いたりしています。周りが綺麗になるのは、心地いいですよ。

(写真ですが、実物はもっと美人です!?)



イベント掲示板★お気軽にご参加を!

「認知症の人を地域で支える」

日時 平成23年8月26日(金)

18時30分 ~ 20時00分

会場 真田中央公民館 会議室 A.B

講師 松井文雄さん

(真田グループホーム運営推進会議メンバー)

真田グループホーム(上田市真田町長)を中心に地域で「見守り」「支えあい」を実施してきた真田自治会の先駆的な実践についてご講演いただきます。

定員 80名

お問い合わせ 社会福祉法人恵仁福祉協会 法人本部(アザレアンさなだ内)「ニッセイ財団高齢社会先駆的事業」あて。

電話 0268-72-2781 有線 2111

参加無料

一緒に真田のまちを再発見しませんか?

身近な情報を編集部へお寄せくださる通信員を募集しています!

詳しくは編集部まで

現在の通信員 55名

編集後記 ●サマーチャレンジボランティアの取材をさせていただいて、一生懸命取り組む生徒さんの姿に、私もさわやかな気持ちになりました。素朴でやさしい生徒さん達がいる真田地域の未来は明るいと思いました。【勝俣ゆかり】 ●上原に開設した交流スペース(お茶飲み処)、気軽にお寄りください。子供さんも大歓迎です。そこで、何か楽しい計画などが広がっていきばうれしいです。家に一人でのいるよりもお友達とおしゃべりしたり、新しい仲間の輪を広げてみましょう。おいしいコーヒーやお茶を用意してお待ちしています。また、お手伝いして下さる方も大歓迎です。【田中文子】 ●震災から水害のニュースが増えてきた印象です。有事の際は地域の「絆」が被害の広がりを防ぐ大きな力となります。備えて整えて意識してまいりましょう。【田中晋】

ニッセイ財団高齢社会先駆的事業「ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」とは

社会福祉法人恵仁福祉協会(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ)では、平成21年10月26日からニッセイ財団より助成金を受け、標記事業を始めています。子どもからお年寄りまで、また地域で商売や活動をしている人たち全員の“いいところ取り”をして元気に暮らせる真田の郷にしようという活動です。通信の発行もその一環です。

発行元:「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局:高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2011年9月15日の発行です。